

2 中学校の例  
(1) 評価表例 (〇〇中学校)

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）	総合評価				
見つけよう《自分・友・故郷》 ともに生きよう《世界の仲間と》	1 国際化が進むこれからの社会で生き抜いていける確かな学力を持った生徒を育成する 2 保護者・地域の人々の教育力を活用し、ともに手を携えて〇〇中づくりを進める					
	今年度の重点目標	成果と課題				
	1 生徒一人一人に問題解決力の育成を	●問題解決学習を「型」でとらえてしまっている。生徒の意識でとらえ、授業に生かさない目標達成はできない。	A	B	C	改善策・向上策
	2 生徒一人一人に基礎的基本的な内容の確実な定着を	0	16	31	生徒の学習意識について、たとえば〇〇先生（□□大学）の本などをもとに学習を深める。	
	3 生徒一人一人に表現力の育成を					
4 保護者・地域の人々の教育力の活用を						

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策	
教育 活動	教育課程	2 生徒一人一人の家庭学習の習慣化	毎日の家庭学習の時間、平均1時間以上の生徒が80%以上いたか。 テスト学習に対する自己評価で、「満足」「ほぼ満足」の生徒が50%以上いたか。	●昨年度は、家庭学習が1時間以上の生徒は62%であった。9月実施の調査では、78%に伸びているが、80%には達しなかった。 ○自分のテスト学習に対して「満足」「ほぼ満足」と答えた生徒は、テスト後の自己評価で、全校で56%に達していた。	3	17	27	(1) 評価規準を年度当初に生徒にも公表・説明し、家庭学習の具体的な目的を持たせてやる取組を実施。 (2) 「家庭学習の仕方」など、具体的な学習方法についての指導も位置付ける。	
		3 学習、集会等での「発表」の場を位置付けた実践	単元の中に、聞いてもらいたいという意識を持った「発表」の場を位置付けられたか。 言いたいことを理解してもらえる喜びを感じる生徒が増えたか。						
	学習指導	1 日常的問題解決学習の実践	生徒の学習意欲が向上したか。 (教科ごとの観点を記入)						
		2 (C)の評定の生徒に対する再指導の工夫改善	評価規準に到達しなかった生徒に対する再指導の在り方の研究、実践が計画通り進んだか。 「授業が分かる」という生徒が増えたか。						
		2 清掃後15分間の数学ドリル学習の実施	ドリル学習が確実に実施でき、生徒一人一人の計算力の向上が図れたか。 数学に自信を持った生徒、数学が好きな生徒が増えたか。	○一学期は、清掃終了時刻が一定せず、時間が確保できない学級があったが、2学期から徹底でき、ショートテストの結果は、確実に上昇している。 ○授業評価に見られる「数学が好き」という生徒が、昨年度の14%から、本年度35%に増加した。				(1) 全生徒が取り組めるということが大切。決められた時刻に、全員が机に向かうことを、まず第一に実施する。 (2) ドリルの成果を実感させる手だて、場面設定についての研究を進める。 (3) 「できる」ことが生徒の意欲を生む。これを他の教科等の学習に活用する。	

学校運営	研修・研究	1 生徒理解を基礎とした問題解決学習の研修	生徒理解をもとにした授業研修会で、学習意欲の向上に対する理解が深まったか。 「問題解決学習」についての理解が深められたか。					
		4 民間企業における職員研修の実施	教職員の、地域や民間企業への理解が深まったか。 地域の人々の学校理解が深まったか。	○ほとんどの職員が研修に参加し、民間企業の品質管理の厳しさ、接客の難しさ、顧客第一主義の徹底など、成果を強調する感想が多く見られた。 ●こうした研修について、ホームページ等で地域に公表する必要があった。				(1) 民間企業の営業に対する視点が、日々の実践のどのようなことに生きたのか検証する。 (2) 研修の場、期間を拡大する。 (3) 研修のねらい、内容等について公表する。
	施 3 朝の15分間読書	生徒の意欲に応えられる蔵書であったか。						

※表中の「成果と課題」欄では、成果を「○」、課題を「●」で示しています。

## (2) 評価個票例 (〇〇中学校学校 学校運営領域)

評価者氏名〔〇〇 〇〇〕校務分掌名〔学年副主任・教育研究係・社会科〕

学校教育目標		中・長期的目標
見つけよう《自分・友・故郷》 ともに生きよう《世界の仲間と》		1 国際化が進むこれからの社会で生き抜いていける確かな学力を持った生徒を育成する 2 保護者・地域の人々の教育力を活用し、ともに手を携えて〇〇中づくりを進める
重点目標	1	生徒一人一人に問題解決力の育成を
	2	生徒一人一人に基礎的基本的な内容の確実な定着を
	3	生徒一人一人に表現力の育成を
	4	保護者・地域の人々の教育力の活用を

※評価【〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】のいずれか

対象	評価項目	評価の観点	評価方法	評価	成果と課題
運営・組織	重点目標達成に向けて機能する学校組織づくり	重点目標にかかわる係目標と活動の焦点化が図れたか。	各係の反省		
		係活動の適時性との確性が確保できたか。	各教職員の評価		
		活動に対する自己評価による改善策・向上策の作成ができたか。	各教職員の評価		
開かれた学校	4 「保護者による授業の日」の実施	「教える」ことの難しさと喜びを理解してくれる保護者が増えたか。	保護者に対するアンケート	A	教えることの難しさと喜びが理解された。
		ともに生徒を育てるといふ保護者の意識の醸成ができたか。	保護者に対するアンケート	B	授業等に対する建設的な意見が少ない。
	4 外部講師を活用した授業の推進	授業に対する地域の人々の理解を深められたか。	外部講師に対するアンケート	A	学校の積極的な取組を評価する声あり。
		外部講師の専門的な知識、技能に触れる喜びを感じさせられたか。	生徒の授業評価	B	外部講師の指導法への生徒の戸惑いが見られる。
		「人材バンク」の作成ができたか。	各教職員の評価	B	未完成である。
	2 評価規準等の保護者への公表・説明	学年・学級懇談会で評価規準、評価方法の公表・説明ができたか。	懇談会、通知票の保護者欄		
研修・研究	1 生徒理解を基礎とした問題解決学習の研修	生徒理解をもとにした授業研修会で、学習意欲の向上に対する理解が深まったか。	生徒の授業評価の自己評価 各教職員の評価		
		「問題解決学習」についての理解を深められたか。	各教職員の評価		
	4 民間企業における職員研修の実施	教職員の、地域や民間企業への理解が深まったか。	各教職員の評価	A	参加者のすべてが再度の研修を希望。
		地域の人々の学校理解が深まったか。	地域、企業へのアンケート	B	学校の取組を知っている人々が少ない。
施設・設備	3 朝の15分間読書の実施	生徒の意欲に応えられる蔵書であったか。	図書冊数、生徒の利用状況、生徒の自己評価	C	生徒数に比較して蔵書の絶対量が不足している。

学校自己評価委員会が、4月に配布することを想定してつくった「学校運営領域」の評価個票の例で、すべての評価項目を掲載してあります。教職員は、自らが関わった評価項目のすべてを評価し、年度末に提出します。委員会では、それを評価項目ごとに集計し、各係の評価の総括のための資料として配布します。記入方法が分かるように、いくつかの評価欄に評価の例を書き込んだものを示しました。